

## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 コムシード株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 3739 URL <https://www.commseed.net/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 塚原 謙次  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部長 (氏名) 吉田 篤史 TEL 03-5289-3111  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月23日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月22日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	2,474	0.4	140	△3.3	146	24.8	98	-
2025年3月期	2,464	17.7	144	303.7	117	545.7	△134	-

(注) 包括利益 2026年3月期 93百万円 (-%) 2025年3月期 △113百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	7.32	7.30	13.5	9.3	5.7
2025年3月期	△9.97	-	△18.4	7.0	5.9

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 -百万円 2025年3月期 -百万円

(注) 2025年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	1,517	797	51.7	58.05
2025年3月期	1,619	693	41.9	50.37

(参考) 自己資本 2026年3月期 784百万円 2025年3月期 679百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	14	△15	△91	671
2025年3月期	273	△104	△31	763

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2026年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2027年3月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

### 3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,100	1.2	3	△93.9	1	△98.3	0	△100.0	0.00
通期	3,000	21.2	240	71.3	230	57.3	210	112.5	15.54

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2026年3月期	13,511,416株	2025年3月期	13,481,316株
2026年3月期	148株	2025年3月期	148株
2026年3月期	13,498,815株	2025年3月期	13,468,841株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	2,485	3.0	157	△51.7	152	△53.5	135	—
2025年3月期	2,412	16.6	326	122.7	328	121.4	△355	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	10.00	9.98
2025年3月期	△26.40	—

(注) 2025年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2026年3月期	1,430	722	722	722	49.6	52.46	52.46	
2025年3月期	1,501	576	576	576	37.4	41.70	41.70	

(参考) 自己資本 2026年3月期 708百万円 2025年3月期 562百万円

<個別業績の前年実績との差異理由>

売上高は有料ゲームアプリの販売が前期の大型ヒットタイトルの反動減により減少となったものの、ソーシャルゲームにおいて既存サービス『グリパチ』に続く『スロパチスピリット』のサービス開始による増加があり、前事業年度を上回りました。

利益面につきましては有料ゲームアプリの販売減少と『スロパチスピリット』の広告宣伝費の増加により営業利益と経常利益は大幅に減少しましたが、前事業年度における子会社2社に対する特別損失の計上減少したことなどで当期純利益については、大幅に改善することとなりました。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は2026年5月14日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報の注記)	14
(重要な後発事象の注記)	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の持ち直しが見られるものの、原材料価格の高騰や為替の変動など、先行きの不透明感が拭えない状況で推移いたしました。

このような環境下、当社グループは主力であるスマートフォン向けソーシャルゲームアプリを中心に、新たなコンテンツの投入および既存タイトルの運営強化に注力してまいりました。

なお、当社グループは、モバイルゲームアプリの企画・開発・運営を行う「モバイル事業」と、NFTやGameFiなどを取り扱う「ブロックチェーン事業」の2セグメントにおいて事業を展開しておりますが、当連結会計年度におきましては、不採算事業であるブロックチェーン事業の整理を実施しております。

当連結会計年度の連結業績は、売上高が2,474,759千円（前連結会計年度比0.4%増）、営業利益は140,066千円（同3.3%減）、経常利益は146,181千円（同24.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益98,800千円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失134,318千円）の結果となりました。

セグメント別の経営成績と、展開する事業におけるサービス分野別の主な取り組みは以下の通りです。

#### (モバイル事業)

既存タイトル『グリパチ』、新作タイトル『スロパチスピリット』で構成されるバーチャルホール領域を主力とするソーシャルゲーム運営が堅調に推移しました。将来のさらなる成長を見据えた積極的な初期投資を実行したことにより、短期的には投資費用が発生したものの、既存タイトルの効率的な運営体制への転換をあわせて推進することで、中長期的な収益基盤の強化を図っております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は2,470,806千円（前連結会計年度比2.9%増）、セグメント利益は195,056千円（同41.9%減）となりました。

モバイル事業の具体的な取り組みは下記の通りです。

#### ① ソーシャルゲーム

主力であるバーチャルホール領域を含むソーシャルゲーム運営では、引き続き売上が堅調に推移しました。当期においては、新タイトル『スロパチスピリット』の投入など今後の成長を見据えた積極的な初期投資を実行したため、利益面では一時的な減少となりました。

#### ② 有料ゲームアプリ

前々期より続くロングテール収益の緩やかな減衰が影響し、減収となったものの、第3四半期に投入した有力タイトルが過去最高ペースで伸長しております。既存タイトルのライフサイクルを適切に見極めつつ、効率的な運用体制の構築に注力しております。

#### ③ 受託開発および運営業務

受託開発および運営業務につきましては、堅調に推移しました。子会社アイビープロGRESSをはじめとする当社グループの開発技術力と柔軟な運営体制を活かし、引き続き安定的かつ信頼性の高いサービスを提供することで、グループ全体の収益安定化に貢献しております。

#### ④ ゲーム内広告

ゲーム内広告につきましても、堅調に推移しました。主要タイトルのユーザーエンゲージメントを維持しながら、広告配信の最適化を継続的に図ったことで、ゲーム体験を損なうことなく収益機会の最大化を実現しております。今後も安定した収益源として成長を図ってまいります。

#### ⑤ 海外配信サービス

海外配信サービス分野は、主として海外プラットフォームへのコンテンツ提供が安定した成長を見せ、当連結会計年度において前連結会計年度比で10%以上の増収となりました。今後は、現地の市場ニーズやプラットフォーム特性を捉えた展開により、グループの新たな成長領域として拡大を目指してまいります。

(ブロックチェーン事業)

当連結会計年度における当事業の売上高は26,280千円(前連結会計年度比73.6%減)、セグメント損失は54,989千円(前連結会計年度は185,257千円の損失)となりました。

当セグメントにおきましては、不採算部門の整理を継続して進めました。事業縮小に伴い売上高は減少したものの、固定費等の削減が進んだことにより、セグメント損失は前連結会計年度と比較して大幅に改善いたしました。

今後は、経営リソースを主力のモバイル事業へ集中させ、グループ全体の収益性向上を最優先に取り組んでまいります。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(資産)

当連結会計年度末における資産は、前連結会計年度末に比べ102,414千円減少し、1,517,234千円(同期比6.3%減)となりました。

この主な要因は、流動資産で現金及び預金の減少91,973千円、前払費用の増加34,674千円、短期貸付金の減少100,000千円と、固定資産でソフトウェアの増加182,579千円とソフトウェア仮勘定の減少130,886千円によるものです。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ207,086千円減少し、719,459千円(同期比22.4%減)となりました。

この主な要因は、流動負債で短期借入金の減少152,550千円、契約負債の減少101,248千円と、固定負債で長期借入金の増加49,594千円によるものです。

(純資産)

連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ104,671千円増加し、797,775千円(同期比15.1%増)となりました。

この主な要因は、利益剰余金の増加98,800千円によるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は671,836千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は14,310千円(前連結会計年度は273,826千円の獲得)となりました。

主な要因は、税金等調整前当期純利益139,641千円、減価償却費46,209千円による資金増加と、契約負債の減少101,248千円、法人税等の支払額53,443千円による資金減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は15,563千円(前連結会計年度は104,365千円の使用)となりました。

主な要因は、無形固定資産の取得による支出111,735千円による資金減少と、貸付金の回収による収入100,000千円による資金増加であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は91,163千円(前連結会計年度は31,525千円の使用)となりました。

主な要因は、短期借入金の減少159,150千円、長期借入金の返済による支出30,402千円の資金減少と、長期借入による収入100,000千円の資金増加であります。

(4) 今後の見通し

当連結会計年度においては、主力タイトルである『グリパチ』および、新たなコアタイトルとして投入した『スロパチスピリット』をバーチャルホール領域として包括的に捉え、運営戦略を統合いたしました。これにより今後は、両タイトルのユーザー基盤や運営ノウハウの共有化を図り、経営資源の最適配分とクロスマーケティングを強化することで、事業全体における収益の最大化を推進してまいります。

有料ゲームアプリについては、パチスロ遊技機市場においてスマスロ<sup>※1</sup>の普及に伴う市場の活性化が続いており、当社にとっても重要な事業機会が到来しております。この好機を確実に捉えるべく、2027年3月期においては有力タイトルのシミュレーターアプリを前期以上のペースで積極的に投入し、市場シェアの拡大を図ります。

また、ブロックチェーン事業の整理については、計画通り概ね完了しております。これにより、不採算部門に係る経営リスクの低減および固定費の削減を実現し、グループ全体の収益構造の改善を図っております。

今後は、モバイル事業へ経営資源を集中させ、既存事業の安定的な収益確保と、将来を見据えた新たなコンテンツ開発への投資バランスを最適化することで、持続的な企業価値の向上と業績の早期拡大に努めてまいります。

以上により、2027年3月期の通期業績につきまして、売上高3,000,000千円（前期比21.2%増）、営業利益240,000千円（前期比71.3%増）、経常利益230,000千円（前期比57.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益210,000千円（前期比112.5%増）を見込んでおります。なお、有料アプリの販売計画において、下期に向けて新規タイトルの販売数が増加する計画となっているため、下期偏重の業績予想としております。なお、本業績予想には、新規事業、先般の資本業務提携、および検討中のM&A等による影響は織り込んでおりません。

<sup>※1</sup>「スマートパチスロ」の略称。メダルレスで遊技可能な新型パチスロ機。遊技性能の向上と利便性により導入が進み、現在の市場トレンドの中心となっている。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	791,809	699,836
売掛金	297,997	299,700
電子記録債権	13,400	9,500
棚卸資産	12,584	20,535
前払費用	50,022	84,696
短期貸付金	100,000	—
暗号資産	3,050	—
その他	31,662	12,971
貸倒引当金	△6,033	△6,161
流動資産合計	1,294,493	1,121,078
固定資産		
有形固定資産		
建物	19,493	22,009
減価償却累計額	△17,230	△17,540
建物(純額)	2,262	4,469
工具、器具及び備品	41,543	42,855
減価償却累計額	△39,390	△40,423
工具、器具及び備品(純額)	2,153	2,431
その他	—	6,355
減価償却累計額	—	△1,002
その他(純額)	—	5,353
有形固定資産合計	4,416	12,254
無形固定資産		
ソフトウェア	22,567	205,147
ソフトウェア仮勘定	130,886	—
その他	685	685
無形固定資産合計	154,140	205,833
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
繰延税金資産	102,255	111,317
差入保証金	25,740	24,920
退職給付に係る資産	1,347	28
その他	37,256	41,801
投資その他の資産合計	166,599	178,068
固定資産合計	325,156	396,155
資産合計	1,619,649	1,517,234

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	154,854	156,073
短期借入金	302,550	150,000
1年内返済予定の長期借入金	20,400	40,404
未払費用	76,814	69,073
未払法人税等	22,124	18,177
未払消費税等	30,368	1,424
契約負債	187,183	85,935
賞与引当金	2,800	3,920
その他	32,840	43,462
流動負債合計	829,935	568,470
固定負債		
長期借入金	71,100	120,694
役員退職慰労引当金	18,427	18,427
退職給付に係る負債	6,268	6,198
その他	814	5,669
固定負債合計	96,609	150,988
負債合計	926,545	719,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,199,639	1,205,451
資本剰余金	630,748	636,560
利益剰余金	△1,170,417	△1,071,616
自己株式	△53	△53
株主資本合計	659,917	770,342
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	19,174	13,987
その他の包括利益累計額合計	19,174	13,987
新株予約権	14,011	13,445
純資産合計	693,104	797,775
負債純資産合計	1,619,649	1,517,234

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	2,464,916	2,474,759
売上原価	1,619,768	1,651,883
売上総利益	845,148	822,875
販売費及び一般管理費	700,233	682,808
営業利益	144,914	140,066
営業外収益		
受取利息	3,440	2,998
受取賃貸料	6,351	6,330
還付消費税等	—	9,987
暗号資産売却益	511	52
その他	1,642	1,860
営業外収益合計	11,945	21,229
営業外費用		
支払利息	14,844	12,100
暗号資産評価損	3,122	698
貸倒損失	20,785	—
為替差損	—	1,734
支払手数料	181	553
その他	833	26
営業外費用合計	39,766	15,114
経常利益	117,093	146,181
特別利益		
新株予約権戻入益	829	—
特別利益合計	829	—
特別損失		
減損損失	217,272	1,350
事業整理損	26,681	5,190
特別損失合計	243,954	6,540
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△126,030	139,641
法人税、住民税及び事業税	30,762	49,903
法人税等調整額	△22,474	△9,062
法人税等合計	8,287	40,840
当期純利益又は当期純損失(△)	△134,318	98,800
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△134,318	98,800

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△134,318	98,800
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	21,251	△5,187
その他の包括利益合計	21,251	△5,187
包括利益	△113,067	93,613
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△113,067	93,613

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,193,011	624,120	△1,036,098	△53	780,980
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）	6,627	6,627			13,255
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△134,318		△134,318
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	6,627	6,627	△134,318	—	△121,062
当期末残高	1,199,639	630,748	△1,170,417	△53	659,917

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△2,076	△2,076	16,070	794,974
当期変動額				
新株の発行（新株予約権の行使）				13,255
親会社株主に帰属する当期純損失（△）				△134,318
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	21,251	21,251	△2,058	19,192
当期変動額合計	21,251	21,251	△2,058	△101,870
当期末残高	19,174	19,174	14,011	693,104

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,199,639	630,748	△1,170,417	△53	659,917
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	5,812	5,812			11,624
親会社株主に帰属する当期純利益			98,800		98,800
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	5,812	5,812	98,800	—	110,425
当期末残高	1,205,451	636,560	△1,071,616	△53	770,342

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	19,174	19,174	14,011	693,104
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)				11,624
親会社株主に帰属する当期純利益				98,800
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△5,187	△5,187	△566	△5,753
当期変動額合計	△5,187	△5,187	△566	104,671
当期末残高	13,987	13,987	13,445	797,775

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△126,030	139,641
減価償却費	50,384	46,209
減損損失	217,272	1,350
事業整理損	26,681	5,190
のれん償却額	5,641	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△80	1,120
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,152	△70
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,844	127
為替差損益(△は益)	—	1,821
株式報酬費用	11,996	11,027
新株予約権戻入益	△829	—
受取利息及び受取配当金	△3,440	△2,998
支払利息	14,844	12,100
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	1,662	△406
売上債権の増減額(△は増加)	71,618	2,197
棚卸資産の増減額(△は増加)	11,071	△7,950
暗号資産の増減額(△は増加)	45,137	3,050
仕入債務の増減額(△は減少)	10,450	11,825
その他の流動資産の増減額(△は増加)	20,376	18,693
前払費用の増減額(△は増加)	△17,636	△35,997
長期前払費用の増減額(△は増加)	△28,278	△4,545
未払費用の増減額(△は減少)	△40,738	2,198
契約負債の増減額(△は減少)	25,284	△101,248
その他の流動負債の増減額(△は減少)	28,543	△12,690
その他	△1,232	1,930
小計	330,390	92,577
利息及び配当金の受取額	3,440	2,998
利息の支払額	△14,233	△22,632
事業整理損の支払額	△26,681	△5,190
法人税等の支払額	△19,090	△53,443
営業活動によるキャッシュ・フロー	273,826	14,310
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△568	△3,828
無形固定資産の取得による支出	△205,002	△111,735
貸付金の回収による収入	100,000	100,000
差入保証金の回収による収入	1,204	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,365	△15,563
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	29	30
短期借入金の純増減額(△は減少)	△54,750	△159,150
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△76,805	△30,402
その他	—	△1,641
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,525	△91,163
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,237	442
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	135,698	△91,973
現金及び現金同等物の期首残高	628,111	763,809
現金及び現金同等物の期末残高	763,809	671,836

(5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績報告を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、主たる事業内容別に「モバイル事業」と「ブロックチェーン事業」に分類し、当該事業を報告セグメントとしております。

モバイル事業では、モバイルデバイス向けにインターネットを通じてユーザーに対してコンテンツの提供や情報の配信サービスを提供しております。

ブロックチェーン事業では、NFT関連やブロックチェーン技術に関するサービスをユーザーに対して提供しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用されている会計方針に準拠した方法であります。また、セグメント間の取引価格は市場実勢価格に基づいており、報告セグメントの利益は営業利益(のれん償却前)ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	モバイル事業	ブロック チェーン事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,378,112	86,803	2,464,916	—	2,464,916
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,918	12,747	35,666	△35,666	—
計	2,401,031	99,551	2,500,582	△35,666	2,464,916
セグメント利益又は損失 (△)	335,796	△185,257	150,539	△5,624	144,914
その他の項目					
減価償却費	24,015	26,369	50,384	—	50,384
のれんの償却額	5,641	—	5,641	—	5,641

(注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△5,624千円はのれんの償却額△5,641千円とセグメント間取引消去16千円であります。

3. セグメント資産の金額は、報告セグメントに資産を配分していないため、開示しておりません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	モバイル事業	ブロック チェーン事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,459,378	15,380	2,474,759	—	2,474,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,428	10,900	22,328	△22,328	—
計	2,470,806	26,280	2,497,087	△22,328	2,474,759
セグメント利益又は損失 (△)	195,056	△54,989	140,066	—	140,066
その他の項目					
減価償却費	45,373	835	46,209	—	46,209
のれんの償却額	—	—	—	—	—

(注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント資産の金額は、報告セグメントに資産を配分していないため、開示しておりません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	50.37円	58.05円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	△9.97円	7.32円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	7.30円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額（千円）	693,104	797,775
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	14,011	13,445
（うち新株予約権（千円））	(14,011)	(13,445)
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	679,092	784,330
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（株）	13,481,168	13,511,268

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円）	△134,318	98,800
普通株主に帰属しない金額（千円）	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円）	△134,318	98,800
普通株式の期中平均株式数（株）	13,468,841	13,498,815
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額（千円）	－	－
普通株式増加数（株）	－	36,248
（うち新株予約権（株））	(－)	(36,248)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

(重要な後発事象)

(BAMBOO NETWORK Co., Ltd. への出資)

2026年4月24日開催の取締役会において、BAMBOO NETWORK Co., Ltd. に対する出資を決議いたしました。

1. BAMBOO NETWORK Co., Ltd. への出資の目的

本出資を通じて、韓国国内におけるショートドラマ制作のトップランナーであり、グローバルな提携実績を持つ同社と連携し、急成長するショートドラマ市場へ本格参入すること、また同社の日本におけるビジネスハブとして、当社が長年培ったゲーム開発・パブリッシング力を横展開することで、新たな収益の柱を構築し、中長期的な企業価値の向上を図ることを目的としております。

2. 出資の概要

(1) 引受株式数	8,685株
(2) 払込金額	999,973,530ウォン

3. 会社概要

項目	内容	
(1) 名称	BAMBOO NETWORK Co., Ltd.	
(2) 所在地	大韓民国 ソウル特別市 江南区 鶴洞路 206 2階	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 鄭(チョン) ダビン、宋(ソン) ユンゴン	
(4) 事業内容	映像コンテンツ、ショートドラマの制作・パブリッシング	
(5) 設立年月日	2018年3月14日	
(6) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

4. 日程

- (1) 出資決議日 2026年4月24日
- (2) 契約締結日 2026年4月24日
- (3) 払込完了日 2026年5月末予定

(資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分)

2026年5月14日開催の取締役会において、資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分を2026年6月23日に開催予定の第35回定時株主総会に付議することを決議いたしました。

1. 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

当社は、現在生じている繰越利益剰余金の欠損を填補し、財務体質の健全化を図ると共に、今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保し、配当実施の早期化を目的として会社法第447条第1項及び会社法第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額を減少させ、これらをその他資本剰余金に振り替えると共に、会社法第452条の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額の減少の効力発生を条件に、増加後のその他資本剰余金の一部を繰越利益剰余金に振り替えて、繰越利益剰余金の欠損補填に充当するものであります。

2. 資本金及び資本準備金の額の減少の要領

(1) 減少する資本金及び資本準備金の額

資本金の額の1,205,451,673円のうち、1,155,451,673円を減少し、50,000,000円とすることといたします。

資本準備金の額の636,560,806円のうち、586,560,806円を減少し、50,000,000円とすることといたします。

(2) 資本金及び資本準備金の額の減少の方法

発行済株式総数の変更は行わず、会社法第447条第1項及び会社法第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額を減少させ、その全額をその他資本剰余金に振り替えることといたします。

3. 剰余金の処分の内容

会社法第452条の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額の減少の効力発生を条件に、その他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替えることで、欠損填補に充当いたします。これにより、当社の繰越利益剰余金の欠損が解消されます。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金1,133,166,370円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金1,133,166,370円

4. 日程

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| (1) 取締役会決議日     | 2026年5月14日      |
| (2) 株主総会決議日     | 2026年6月23日 (予定) |
| (3) 債権者異議申述公告日  | 2026年6月30日 (予定) |
| (4) 債権者異議申述最終期日 | 2026年7月30日 (予定) |
| (5) 効力発生日       | 2026年7月31日 (予定) |